

## 聴き比べ

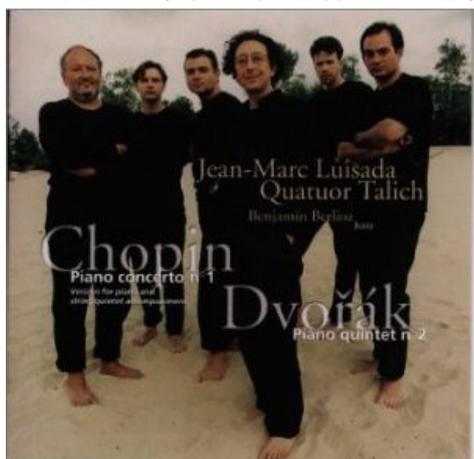
- 2013.07.14 Sunday
- 11:27

毎日が暑い！日々の買い物と家族の病院行き以外は完全に引きこもり状態の今日この頃なので、仕事が終わるとだら～っと本を読んだり、「断捨離」実行、そして音楽を聴く。

ピアノ・声楽、合唱も一つの作品に対してさまざまな演奏家を聴き比べるのが好きだ。

この人はどんな解釈をしているんだろう？と興味津々。

また、曲に民族性がある作品には作曲者の出身国の演奏家や指揮者の演奏を聴くのもおもしろいと思う。



ピアノコンチェルトの中で最も好きなショパンのPコン第一番をルイスダがターリヒ弦楽四重奏団と共演したもの。

気取らずに聴けるルイスダが割と好きだったし、オケを弦楽重奏で？というすごい試み、勇気に興味をそそられたのもあり、買った1枚。

(クラシックではあり得ないようなジャケット写真にも惹かれたんだけど)

ウキウキするような、演奏者が音符を楽しんでいる姿が目につかぶお気に入りの1枚。

まさにこのジャケットの雰囲気そのものかな。

POPS系で買ったカヴァーものがコレ。



CMで流れてた彼が歌う「home」に惹かれたし、好きな「たしかなこと」「涙そうそう」が入っていたからどうしようか？とさんざん考えた買った1枚。

まだ1回しか聴いていないので、お気に入りの1枚になるかどうか、はまだ未定だけど、ここのところ遅まきながら家族のありがたみを感じている身近な人間に「home」と「家族になろうよ」を聴かせようと目論む私です。(笑)